

掛川第五地区

要 望 事 項 等	回 答	類 型
<p>◆掛川第五地域生涯学習センター建替について</p> <p>第五地域生涯学習センターは建築後32年が経過している。地区まちづくり協議会の拠点として今後、利用増加が見込まれるのに、4つの部屋の内2つに空調設備がない状態だ。これからの第五地区に見合うセンターの建替を、現在地に拘らず検討してほしい。</p>	<p>第五地域生涯学習センターは昭和59年に建設され、築後32年を経過していることから老朽化による不具合、人口増や活動の活発化等による施設の手狭さなどの課題が指摘されています。</p> <p>このような中、市内全体における財源や優先順位を検討しており、第五地区の現状をしっかりと検討に反映させながら、センターの建替について明らかにしたいと思えます。</p> <p>また、センターの建替を行う場合は、南郷地区や西南郷地区のように、地区から一定の負担をお願いすることになります。このことを含め、今後、地区役員の皆様と話し合いを進めたいと考えます。</p> <p>【生涯学習協働推進課】</p>	D
<p>◆県道原里大池線の前側橋拡幅による交通安全対策について</p> <p>県道原里大池線は前側橋の部分で幅が狭くなっており通行が危険である。橋の幅を道路幅に合わせて拡幅し安全に横断できるようにしてほしい。</p>	<p>前側橋の拡幅については以前から県に要望をしており、本年度も県に現地確認をしていただいています。しかしながら、仮橋設置等の課題も多く実施に至っていません。引き続き県に要望していきます。</p> <p>【事業調整室】</p>	D'
<p>◆長谷大池線（彩カラオケ店）西側交差点の渋滞対策について</p> <p>休日になると北進する右折車両による渋滞が発生しているため、道路幅を改善し右折可能な時間差信号機の設置を検討してほしい。</p>	<p>（都）長谷大池線と市道鳥居細田線の交差点については、商業施設のほか工場など多数の施設が混在する地域の中に位置するため、特に休日には周辺道路を含め、慢性的に交通渋滞が発生するなど地域の皆様には大変ご迷惑をお掛けしています。</p> <p>また、大型商業施設の店舗拡張計画により、更に交通量の増加が見込まれることから、今年度、周辺の交通渋滞緩和に向けた交差点改良設計業務を実施しています。これは、平日及び休日の交通量調査を実施し現況の交通分析をした上で渋滞解消を目的とした交差点改良を検討するものです。</p> <p>今後、公安委員会とも協議を行い整備方針案が決まりましたら、地域の皆様と協議させていただきます。</p> <p>なお、交差点改良に伴う右折車線の設置には、新たに拡幅分の道路用地や物件移転等が必要となりますので、関係地権者のご理解ご協力をお願いします。 【土木課】</p> <p>交差点改良による右折レーン設置に併せ、右折矢印信号機の設置について、公安委員会へ要望していきます。</p> <p>【危機管理課】</p>	<p>D</p> <p>D'</p>

掛川第五地区

要 望 事 項 等	回 答	類 型
<p>◎アピタ掛川店周辺整備について</p> <p>拡張・整備計画を立てるに当たり、地権者や地区への事前説明は無いのか。決まってからでなく調査の報告説明もしてほしい。</p>	<p>アピタ掛川店周辺は、市内で最も商業施設が集積していることもあり、今回のユニーによる増築計画に合わせて、市は天竜浜名湖鉄道新駅の設置を計画しています。また、現在でも周辺交通量が多く慢性的な渋滞が発生していることから、今年度は交通量調査を実施し、来年度以降、上記の（都）長谷大池線と市道鳥居細田線の交差点改良を検討していますので、新駅の計画を含め、方針をまとめる前に関係する皆様へ説明します。</p> <p>アピタ掛川店増築については、平成28年2月に市とユニーで基本協定を締結したところですが、平成29年1月現在、事業者側の計画に進展がありません。店舗の増築については、計画の進捗に合わせて事業者から説明していただくよう調整しています。【都市政策課】</p>	B
<p>◎さんりーな第一駐車場付近の安全対策について</p> <p>路面の凸凹や区画線が無いことへの対応をお願いしたい。また、車両出入口を現在の北側から東側に変更したらどうか。</p>	<p>大池公園のさんりーな南側の臨時第2駐車場については、平成29年度に路面舗装等の工事を検討しています。</p> <p>それと同時に、北と東にある車両出入口については、公園、広場、さんりーな、及び整備予定である新店舗など、それぞれの利用者が安全に活用できるよう検討していきます。【維持管理課】</p>	B
<p>◎倉真川へ繋がる水路の改善について</p> <p>二瀬川、七日町地内の現在のガードレールをコンクリート壁に改修し集中豪雨時の備えとしてほしい。</p>	<p>現在の水路断面は7年に1度降る確率として時間雨量約60mmに対応したものとなっています。水路の嵩上げを行うことにより、道路に面した家屋の出入に支障をきたしたり、道路排水がスムーズにできない等の問題点が多くありますので、実施は困難と考えられます。【土木課】</p>	D